アジサイ剪定

７月１８日、香北町内の国道１９５号沿いと香北青少年の家周辺で、アジサイの剪（せん）定作業が行われました。

毎年、香北町内の各種団体・事業所・県出先機関・市役所の職員が花の終わったアジサイの剪定を行っており、８５人が参加しました。

今年は、**塩の道保存会**が青少年の家周辺で剪定を早くから行ったほか、各所でも地域の方による手入れ作業がありました。多くの方の協力で、来年は、より多くのアジサイの花が見られると期待されます。

物部川環境学習バスツアー

▲日ノ御子河川児童公園（香北町）

８月３日、物部川流域住民で組織する**アクア・リプルネットワーク**と流域３市（南国市・香南市・香美市）で構成する**物部川流域ふるさと交流推進協議会**の主催で、流域３市の小学３～６年生を対象に、身近にある物部川をより知ってもらうことを目的として、物部川環境学習バスツアーが行われました。

当日は５０人が参加し、河口の吉川漁港から見学を行い、三叉（みつまた）、物部川サイフォン、合同堰、杉田ダムと上流に向かいました。それぞれの場所で、役割やその歴史についての説明が行われ、参加者はメモをとるなど熱心に聞いていました。午後からは、日ノ御子河川児童公園で川に入り、水中生物を探索するなどして、川遊びを満喫していました。

姉妹都市交流だより

４年ぶり　積丹町踊り子参加

写真①合同チームでボーカルを務めた積丹町の播磨さん。写真②さわやかな笑顔で踊ってくれた積丹町の木田さん。

８月７日に開催された**第４２回土佐山田まつり**に姉妹都市北海道積丹町から２名が訪れました。積丹町から土佐山田まつりへの参加は４年ぶりで、２人は６月のYOSA-KOIソーラン祭りに参加したメンバーらで結成された**姉妹都市合同チームヤーレンソーラン積丹町＆香美市**に加わり、商店街を踊り、交流を深めました。

（香美市姉妹都市友好都市交流推進協議会）

オリンピック選手がやってきた

７月７日、片地小学校で、**文部科学省・（財）日本体育協会平成２２年度スポーツ選手活用体力向上事業**である水泳教室が行われました。

この教室は、片地小・佐岡小の３・４年生を対象に行われ、中学年の時期にスポーツ選手の講話、実技指導を通して、運動への興味と自信を動機付け、体力向上につなげることを目的に行われました。

講師には、シドニー・アテネオリンピック日本代表（水泳・２００mおよび４００m個人メドレー）の三木二郎さん（０８年に引退）を迎えました。講話の中で、三木さんからは、「自分を信じ、コツコツと頑張ることが結果につながる。あきらめない心が大切」と話していました。児童から「何歳から泳ぎ始めたのですか？」と質問が出ると、三木さんは「プールに入ったのは３歳です」と答え、児童からは驚きの声がもれていました。講話の後行われた実技指導では、三木さんの模範泳が行われ、オリンピック選手の素晴らしい泳ぎを見た児童からは「すごい！」「はやい！」などの声が聞かれました。

足の付け根から動かして

香北観光、道路美化

７月１４日、(有)香北観光の皆さんが、国道１９５号線（大栃橋～夢野）と県道久保大宮線（香北町内の一部）の沿道のゴミ拾いを行いました。

この活動は、同社が毎年行っており、今年で１０回目となります。今回は、社員１４人に、地元の本町・泉町老人クラブ９人が加わり、時折雨の降る天気の中作業に当たり、空き缶・ペットボトルなどをゴミ袋２３袋分収集しました。活動を始めた当初に比べると、ボランティアの方の取り組みもあって、沿道のゴミも少なくなってきているそうです。

生涯学習推進大会

７月１０日、保健福祉センター香北で**第５回香美市生涯学習推進大会**が開催され、約１４０人が参加しました。

今年度は、**まなび・交流・心豊かな人とまち**をメインテーマに、**「早ね 早おき 朝ごはん」運動キャラバン隊**の着ぐるみ劇と体操で、にぎやかに始まり、楠目小学校支援地域本部・香北中学校生徒会・神池地区自治会が、活動報告を行いました。講演会では、講師の梅原真さん（香美市在住・梅原デザイン事務所主宰）から、全国各地の地域の人々との交流から得たことや環境に関する話があり、気さくな人柄に笑いが起こり、参加者は元気づけられました。